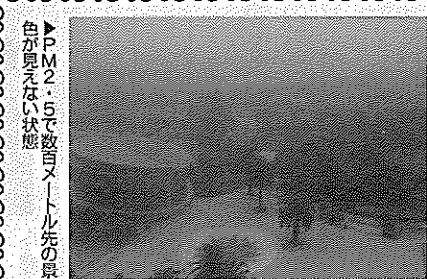


## 第29回 介護分野、中国に注目



▲PM2.5で数百メートル先の景色が見えない状態

中国は防空識別圏設定や大気汚染など日々の問題を抱えています。11月6日上海市は微粒子状物質PM2・5濃度測定値が600マイクログラムを超過して6段階で深刻な汚染の状態で数百メートル先のビルが見えず、高速道路も一部閉鎖され、学校も休みになり街行く人もまばらの状態で住民の生活にも大きな支障をきたしました。この時ばかりは私も外出を控えました。

とても人間が生活できる場所ではない状態で、この国は一体どうなってしまうのだろうと感じました。

2010年10月の尖閣諸島問題による日本に対する抗議デモ時には、上海の街でいつも通り、違和感なく過ごしていたため、日本M2・5は中国で生活をする日本人にとっても酷過ぎました。しかし、今回のPM2・5は中国で生活を送る日本人にとっても酷過ぎました。

中国におけるビジネスは以前よりリスクが高まったと認識している日本人も多いと思います。しかしこのような過酷な状況下でも中国の巨大市場を諦めるわけにはいきません。様々なリスクを抱えている今こそがチャンスです。

日本企業における海外投資でチャイナプラスワンの考えは必要ですが、経済大国世界2位の中国を外す事

はできない状況は間違います。

介護・福祉  
ゲストハウス社長  
松山英樹

## 潜在的マーケットに期待

### 中国の 高齢者 マーケット

～介護・不動産事業の行方～

**著者プロフィール**  
ゲストハウス社長。2007年から高齢者住宅リボーンシリーズを関西圏で展開。中国市場開拓を目指し、上海に中國シニア事業会社設立。

ビス・高齢化などはますます商機が開けてくるでしょう。最近は、中国の介護に商機を求めて訪問介護、デ

イサービス、デイケア、ヘルパー学校、老人ホームなどの分野で、海外企業の進出の声を聞くようになります。日本の前に広がりを感じ取れました。

日本企業の潜在的中国の顧客層は2013年3億人、2020年には7億人差、汚職撲滅とまだ大に膨れると言われています。それだけ中間所得層が増加しサービスを求める顧客層が増大すると見込まれています。

サービスといえば、日本が世界に誇れるものとしているばかりです。